

「びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫における TFL 発現強度の臨床的意義に関する後方視的調査研究」について

西脇病院では最新の医療を提供できるよう常に努力しております。また、より優れた診断法や治療法の研究開発及び次世代を担う若い医療従事者のための臨床教育や研修も行っております。このような研究及び教育のためには診療に伴って生じる皆さんの試料や診療情報などを使わせていただくことが不可欠です。

この度の研究対象である悪性リンパ腫の中には、それぞれの病気に特徴的な染色体異常や遺伝子異常を認めることがあります。それらの研究の進歩は著しく、今日までに多くの疾患特異的染色体異常・遺伝子異常が明らかになってきました。それらの中には病気が治りやすいか否かの指標となるものがあり、治療方法選択の上で重要な要素になっているものもあります。実際の診療においても、同じ染色体異常が認められていても患者さんによって治療経過は順調であったり、難渋したり様々です。ですから、がん組織の遺伝子異常と治療経過のデータを蓄積することは治療成績向上のためには欠かせないことです。私たちはリンパ腫の患者さんの組織から新しく染色体 6 番長腕に存在するがん抑制遺伝子候補 *TFL* を発見しました。この研究では、*TFL* 遺伝子の発現量（多い、少ない）を免疫組織染色法で測定し、個々の患者さんの治療反応性や生命予後等に関連するかどうかを明らかにする事を目的としています。以下の点をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 本研究は当院の倫理委員会にて承認を受けております。研究にご協力頂くかどうかは全く自由ですし、参加されなくても今後の診療になんら不利益になることはありません。また、一度同意頂いた場合でも後になって撤回することは可能です。同意の撤回は書面にて受付けます。
2. 研究の結果は学会発表や論文などとして発表する場合がありますが、個人が識別できないような形での公表を行い、患者さんの住所、氏名、生年月日など個人情報、プライバシーは一切公開されることはありません。
3. 研究によっては、その結果において知的財産権が生じる場合が考えられます。このような場合、その権利は研究実施施設あるいは研究者に属するものとさせていただきます。また、研究は患者さんの疾患の治療や健康維持に影響を与えるものではなく、費用はかかりませんし、逆に謝礼をお渡しすることもあります。患者さんが研究に参加して頂くことで直接利益を得ることはありませんし、また、逆に不利益を受けることもありません。

以上の説明に関するお問い合わせなどがありましたら、担当医にご連絡ください。

連絡先

〒677-0043 西脇市下戸田 652-1
西脇市立西脇病院
Tel:0795-22-0111 Fax:0795-23-0699